

大阪陸協長距離クラス別記録会

開催日:平成25年12月15日(日)

場所:長居陸上競技場

種目	名前	学年	記録	着順	備考
5000m	床呂 沙紀	1年	16分53秒96	1組1着 (25名中)	自己記録は16分48秒46
	山田 郁香	1年	18分04秒76	2組2着 (22名中)	自己記録は17分52秒17

【山本コメント】

冷たい北風が吹きつける、やや厳しいレースコンディションの中でレースは開催された。

女子5000mは2組に分かれて実施され、持ちタイムが速い方の1組目に床呂が出場した。レースは12時45分にスタート。床呂はスタート直後から先頭に立ち、3周目以降は後続を引き離して独走。単独走の場合、後半にペースを維持できなくなることが多いが、3000m以降もペースをキープし、3週間前に出した自己記録に約5秒差と迫るタイムで、2位を10秒以上離してトップでゴールした。前回の記録は、気象コンディションもよく、集団の中での競走という条件下の中で出した記録であり、それと比較すると、今回の厳しい気象コンディションでの単独走という内容は、より高く評価できる。来シーズンのトラックレースで、さらに大きく自己記録を更新できる可能性を感じた。

直後の2組目に、山田が出場した。山田は序盤から先頭集団の中でレースを進め、5周目からは先頭に立って先頭集団を引っ張った。中盤以降はもう一人の選手とのマッチレースになり、4000m以降にはやや引き離されたが、自己記録と約12秒差のタイムで、2位でゴールした。大学入学後のレースの中では、これまでで一番、最後まで力強く走れたレースであった。最近の練習では、明確な意図を持って取り組むようになってきている。この調子で怪我なく練習を継続し、来シーズンのトラックレースでは自己記録をどんどん更新してくれることを期待したい。

尾崎と港は、それぞれ事情があり欠場した。

今回のレースで、年内の大会出場は終了した。年が明けた後は、ロードレースに積極的に出場していく。新入部員が結集する時期も近づいてきている。新チーム体制での来年度の駅伝を見据え、個々の力と、チームとしての力を高めていってほしい。